

1.1 情報通になるためのポイント

ポイント その1 調べるテーマを具体的に決めよう

情報通になるには、まずはじめに「調べたいことをはっきりさせる」必要があります。

「そんなの当たり前」と思うかもしれませんが、これが結構難しいのです。

たとえば、「少子化問題」についてのレポートが出たとします。

少子化問題はテレビや新聞でもよく取り上げられているので皆さんご存じでしょう。全然知らないテーマではないし、一見簡単そうです。でも本当にそうでしょうか。

同じ少子化問題でも、「少子化と育児」、「少子化と結婚」と「少子化と年金」とでは、調べることが全然違ってきます。同じ「少子化と育児」でも、児童手当や育児休業など制度的な問題、育児を行う親側の心理的な問題など切り口はたくさんあります。

あいまいなまま調べ始めると、時間がかかった割に結局何がしたいのか分からなくなってしまうことが多々あります。

ある一つのテーマにどこから取り組むか考えてから調べ始めることが大切です。これが情報通への第1歩といえるでしょう。

ポイント その2 調べる手段を決めよう

では、もうちょっと具体的に「少子化問題を解決するための育児支援」について調べてみることにしましょう。

まず、調べたいことを簡単にリストアップしてみます。

- 少子化の現状、背景
- 政府の対策
- 育児支援の具体例

これらはどの手段を使えば効率的に調べられるでしょうか。知りたいこととうまくマッチした、調べる手段（情報源）が分かれば、調べ物はぐっと楽になります。これについては第2章で詳しく説明します。

ポイント その3 キーワードはいろいろ試してみよう

調べていると、「子育て支援」という言葉が目にとまりました。

「あれ？育児支援と似ている」と思ったらチャンスです。

調べものをするときには、1つのキーワードだけでなく、他の言葉で置き換えられないか考えるくせをつけておきましょう。

今回の場合、実は政府の資料に「子育て支援」という言葉が多く使われているので、育児支援に関する情報も「子育て支援」という言葉が使われていることが多いのです。

1つの言葉でうまくいかなかった時もそうですが、一見調べものが進んでいるような時でもキーワードをいろいろと置き換えて調べると、新しい発見があります。

ポイント その4 調べる情報の範囲を意識しよう

また、調べる情報の範囲を意識することも大切です。

たとえば、「子育て支援政策の変化」について調べたくなるとします。

この場合は最新の情報だけでなく、古い情報も必要ですね。

でも、「子育て支援に関する自治体での先進的取り組み」となると、古い情報ではあまり役に立ちません。新しい情報を中心に調べていくことになります。

